第五十号の十一様式（第十条の五の二十一関係）（A4）

収入印紙は貼りつけず、

そのままお持ちください。国交省で申請時に貼り付けます。

※このコメントは印刷の際に消してください。

収入印紙

**構造方法等の認定申請書**

令和　　年　　月　　日

* 日付は空欄としてください

国土交通大臣　　　　　　　　様

* 申請時点での国土交通大臣の氏名をご確認下さい

申請者の住所又は

主たる事務所の所在地

申請者の氏名又は名称

* **略**称ではなく正式名称でお書きください。性能評価申請書と同じ形式でお書きください。

下記について、建築基準法第37条第二号の規定による認定を受けたいので、同法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む）の規定により、申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

記

１．認定を受けようとする構造方法等の名称

件名

※高強度コンクリートの場合は「高強度コンクリート」のみご記入ください、その他は事務局へご確認ください。

※　性能評価申請書と整合して下さい。

２．工場その他の事業場の名称及び所在地

　※別添に記載の製造工場名及び所在地をご記入ください。

３．備考

**委任状**

令和　　年　　月　　日

* 日付は空欄としてください

国土交通大臣　　　　　　　　様

* 申請時点での国土交通大臣の氏名をご確認下さい

申請者の住所又は

主たる事務所の所在地

申請者の氏名又は名称

* **略**称ではなく正式名称でお書きください。性能評価申請書と同じ形式でお書きください。

　私は、指定性能評価機関である株式会社 都市居住評価センターに、国土交通大臣が行う構造方法等の認定に係わる下記の事務手続きに関して委任します。

記

1. 件名

※高強度コンクリートの場合は「高強度コンクリート」のみご記入ください、その他は事務局へご確認ください。

1. 性能評価番号　及び　　　　UHEC評価－

性能評価番号及び交付年月日（西暦）はUHECにて記載いたしますので、空欄にしておいてください。

※このコメントは印刷の際に消してください。

性能評価交付年月日　　　　　　　　年　　月　　日

1. 性能評価の分野（該当する項目の□枠内にレ印）
	* 建築材料の品質性能評価
	* 構造安全性能評価
	* 耐火性能評価
	* 避難安全性能評価
2. 性能評価の認定に係わる事務手続きの範囲（該当する項目の□枠内にレ印）
	* 申請書類の提出のみ
	* 申請書類の提出から認定書の受領まで

以上

**建設省告示　第１４４６号　第１　一　構造用鋼材及び鋳鋼の書式です。**

建設省告示　第１４４６号　第１　『二　高力ボルト及びボルト』、『三　構造用ケーブル』、

『四　鉄筋』等については、別途、お問い合わせ下さい。

指 定 申 請 書

下記の建築基準法第37条第二号の国土交通大臣の認定を受けようとする鋼材等に係る許容応力度等の基準強度について、平成12年建設省告示第2464号第1第二号、第2第二号、第3第二号及び第4第二号の規定に基づき、下記に掲げる数値の指定を申請します。

国土交通大臣　　　　　　　　様

* 申請時点での国土交通大臣の氏名をご確認下さい

※　日付は空欄として下さい。

令和　　年　　月　　日

申請者の住所又は

主たる事務所の所在地

申請者の氏名又は名称

記

1. 認定を受けようとする鋼材等の名称

※　性能評価申請書と整合して下さい。

1. 数値の指定を申請するもの

|  |  |
| --- | --- |
| 許容応力度の基準強度 | N/mm2 |
| 溶接部の許容応力度の基準強度 | N/mm2 |
| 材料強度の基準強度 | N/mm2（上記の数値の　　倍以下までの数値） |
| 溶接部の材料強度の基準強度 | N/mm2（上記の数値の　　倍以下までの数値） |

※上記のそれぞれの右欄に申請される数値をご記入下さい。

（改定履歴）

|  |  |
| --- | --- |
| 平成19年6月20日 | 改定 |
| 平成20年8月1日 | 改定 |
| 平成20年10月3日 | 改定 |
| 平成20年11月11日 | 改定 |
| 平成22年5月25日 | 改定 |
| 平成22年7月21日 | 改定 |
| 平成27年6月1日 | 改定 |
| 平成28年12月19日 | 改定 |
| 平成29年5月11日 | 改定 |
| 令和 元年6月 3日 | 改定 |
| 令和 元年8月 7日 | 改定 |
| 令和 元12月11日 | 改定 |
| 令和3年1月6日 | 改定 |
|  |  |

※このページは申請時には必要ありません。